

# 議会だより



## りゅうおう

No.169

2014年11月1日

滋賀県竜王町議会

おいしい  
お米、上手に  
刈れたよ!



決算内容を審査 2  
条例改正で議論 6  
町政ここを問う 8



ガーコン  
ガーコン  
ガーコン  
なつかしい脱穀の音♪

竜王西小学校 田んぼの学校

竜王幼稚園 稲刈り体験

9月  
定例会

# 認定

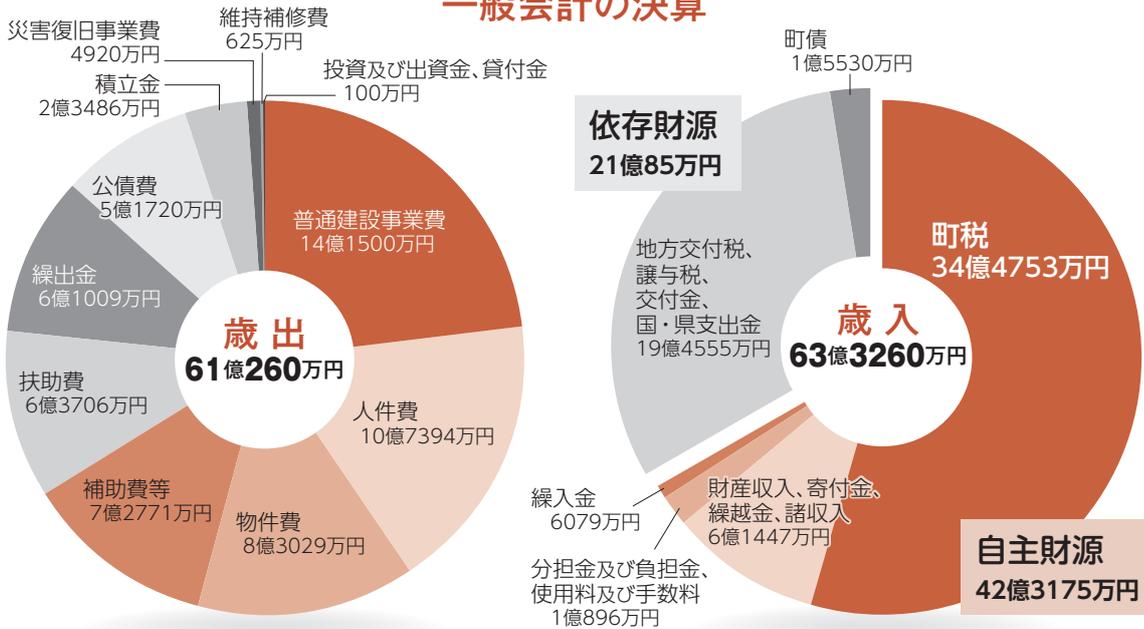
大型  
事業

滋賀竜王工業団地  
の整備が進む

## 平成25年度決算状況

平成26年  
第3回定例会

### 一般会計の決算



### 特別会計の決算

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業(事業勘定)	11億5857万円	10億9636万円
国民健康保険事業(施設勘定・医科)	1億170万円	9231万円
国民健康保険事業(施設勘定・歯科)	5446万円	5169万円
後期高齢者医療	8166万円	8109万円
介護保険	7億6761万円	7億4267万円
学校給食事業	5982万円	5950万円
下水道事業	6億3123万円	6億2544万円
<b>合計</b>	<b>28億5505万円</b>	<b>27億4906万円</b>

### 企業会計の決算

会計名	収益的収入	収益的支出
水道事業<3条予算>*税抜き	3億817万円	2億9153万円
	資本的収入	資本的支出
水道事業<4条予算>*税込み	9195万円	1億344万円

\*4条予算については、不足する1149万円は過年度分損益勘定留保資金708万円、消費税資本的収支調整額441万円<sup>はてな</sup>で補填しました。

平成26年第3回定例会は、9月5日から26日までの22日間の会期で開かれました。今回の定例会では、条例改正5件、平成26年度一般・特別会計補正予算5件、平成25年度一般・特別会計決算認定7件・企業会計決算認定1件、人事案件1件の議案の他、意見書1件などが提案されました。

慎重審議の結果、全て原案通り「可決、認定、同意」しました。

平成  
25年度

# 決算を

## 決算に関する主な質問や意見

**問** 庁舎周辺の定住化促進の成果は？

**答** 調査検討を通じて市街化に向けた準備をし、可能性を探っているが進まないのが現状です。

**問** ふるさと竜王夏まつり、ドラゴンピクニック、文化祭など隔年から毎年開催に戻せないか？

**答** 来年、町制60周年に合わせて検討します。

**問** 介護保険給付費準備基金残高が803万2760円と減少しているが今後の見通しは？

**答** 滋賀県介護保険財政安定化基金からの借入も考えているが、次期の保険料は上がる見込みです。

### 意見

◎滞納など未収金が増加傾向にあるため、今後しっかりとした計画、また目標を持って、一層の収納に努められたい。

◎人事考課制度導入について、昨年度決算でも要請したが、あまり効果が見られてない。初期投資が大切であり、費用対効果のある民間の制度なども活用し、本格実施されたい。

平成25年度はこんなことにも町のお金が使われました



中学校の電気の約2割をカバーするよ



竜王中学校体育館  
太陽光パネルの設置



竜王町地域  
防災計画の  
策定

応急担架訓練（小口地区）

### 竜王町地域防災計画の構成

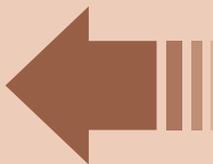
- ・ 総則
- ・ 災害予防計画
- ・ 災害応急対策計画
  - 風水害対策編
  - 震災対策編
- ・ 災害復旧計画
- ・ 原子力災害対策編

竜王町防災会議



復旧後の状況

台風18号被害  
に対しての  
災害復旧



昨年の台風18号による土砂流入（妹背の里）

## 平成26年 第2回臨時会

7/22

この臨時会では、町総合庁舎別館の火災に関連し、総合行政システム等仮想サーバや戸籍総合システムのサーバの更新と、これらを収納するラックや無停電電源装置などの取得について議決を求めることの2件が提案され、全会一致で可決しました。

## 動産の取得

電算管理用備品整備事業による総合行政システム等サーバ再リプレースの購入、金額1,220万6,160円で取得。

戸籍住民登録事務用品整備事業による戸籍総合システムのサーバ再リプレースの購入、金額1,209万6千円で取得



現在稼働中のシステムのサーバー

## 平成26年 第3回臨時会

8/4

この臨時会では、平成26年度一般会計補正予算と、工事請負契約の締結について議決を求めることの2件が提案され、全会一致で可決しました。

## 補正予算

歳出の主なものは、町総合庁舎別館の火災に係る復旧経費として、新電算室機器移設関連業務委託料など電算関連予算と総合庁舎別館火害復旧等改修工事など。

歳入は財政調整基金繰入金、公共施設維持管理基金繰入および公共施設維持火災復旧事業債。歳入歳出それぞれ1億3,020万円を追加し、63億5,332万9千円とするもの。

## 工事請負契約の締結

- ・町道仁殿線道路整備工事、請負契約額は1億4,850万円
  - ・竜王IC周辺地区道路整備工事（岡屋仁殿線）、請負契約額は1億4,569万2千円
- 滋賀竜王工業団地において、祖父川左岸道路から国道477号に接続し、インターチェンジ周辺へのアクセス向上が図れる新規道路として整備するもの。

# 常任委員会の活動

## 総務産業建設常任委員会

調査

### 庁舎別館火害復旧および新電算室整備について 8/1

平成26年1月26日に発生した火災に対応



総合庁舎別館

**問** 有線放送との契約関係は。

**答** 毎年更新。施設使用料・電気等の経費をもらっている。従来通りの契約を考えています。

平成27年10月から本稼働

### 6町クラウド共同利用事業と番号法への対応について 9/12

調査

**問** 6町で共同利用するということだが、個人情報の漏えいなどの心配はないのか。

**答** 個人情報が漏えいすることが絶対にならないように安全性については評価書を作成し、国の評価も受けます。

6町合同で利用システムの検討



調査

### 竜王町地域防災計画の策定について 9/12

平成26年3月に策定

- 水害ならびに地震による被害想定
- 住民への避難情報の周知
- 町内企業等との応援協定の締結
- 新しく原子力災害対策編も作成

**問** 第1次避難場所については、住民の安全性を考慮しているのか。

**答** 今後も自治会と十分な協議をし、より安全性について詰めていきます。



竜王町防災会議・竜王町水防協議会合同会議

## 教育民生常任委員会

視察

### 視察研修 (大分県豊後高田市) 7/14~15

- ・「学びの21世紀塾」(平成14年度~)
- ・教育の地域間格差の解消
- ・「学力・体力・豊かな心」を育む
- ・前向きで、真摯な子どもの育成を趣旨として、学校・行政・地域が連携して取り組んでいる。



意見交換の様子

調査

### 教育委員会関係施設の管理体制と緊急時の対応について 7/25

- ・各施設とも施設管理者を中心に緊急時に対応する体制ができています。

**問** 校園長は遠方の方が管理者になることもある。近くの人という考えは。

**答** 校園長から近くの人に連絡を入れます。

調査

### 子ども・子育て支援に関する各種事業等の基準について 9/11

- ・地域型保育事業(家庭的保育事業等)の設備および運営に関する基準
- ・特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準
- ・放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準

**問** 給付対象にならない保育園ということはないのか。

**答** 現在の認可保育園は給付対象となります。

調査

### 法人住民税の改正について 8/18

- ・法人住民税法人税割の税率の引き下げ
- ・引き下げ幅のシミュレーション  
下げ幅を1.6%と2.6%の2種類で、27年度と28年度の二カ年で法人割額の減額に差が出る。

**問** 税率の例を2つ提示しているが、どちらを考えているのか。

**答** 9月定例会に提案します。慎重に税率を考える必要があります。

調査

### 介護予防事業の現状について 9/11

- ・新たな介護予防事業として、竜王町社会福祉協議会に「ふれあいプラザ生涯現役事業」を事業委託



コスモス保育園

# 特別委員会の活動

## 地域活性化特別委員会

9/19

調査

### 滋賀竜王工業団地の進捗状況について

- 企業誘致活動は、竜王町の意向が反映されるよう調整し、テレビやセミナーなどで宣伝活動を計画されている。
- 販売計画は、平成26年11月から開始し、27年1月までの期間。

問 全区画を同時に販売するのか。

答 同時に販売するが、引き渡しは造成完了後となります。



造成工事現場の様子

調査

### 雪国まいたけの状況について

問 町当局が必死になって、もはや次はないという強い姿勢で臨む必要があるのではないか。

答 役員には、今年度中に方向性を示さなければ延長はないと伝えてあります。土地利用計画が今年度中にできなかったら、破棄します。



(株)雪国まいたけの敷地

調査

### 篠原駅周辺都市基盤整備事業の状況について



駅舎工事の現地調査

調査

### 住宅施策の状況について

- 現在、山之上地区、総合庁舎周辺地区、鏡地区の3カ所で推進中。

## 議会基本条例推進特別委員会

9/19

検討

### 「子ども議会」について

竜王町の将来を担ってくれる子ども達が、まちの将来を考え、まちへの関心を持ち、まちづくりへの参画意識を育てるきっかけになればという思いから、「子ども議会」の実施を検討していく。



みなさんの「声」を町政に届けます



# 一般質問

8議員が15問

- 「定住自立圏構想」の推進について
- 農政改革について町の考えを伺う
- 生産者米価の下落で町農業基本計画はどうなるのか
- 全国学力・学習状況調査について
- 三井アウトレットパーク来客者とまちづくりについて
- 新幹線湖東駅（仮称）設置に向けて
- 地域包括ケアシステムの構築について
- 空き家対策について
- お買物無料送迎バスの運行について
- 祖父川上流域の水害防止対策について
- 人口減少対策について
- 防災行動計画「タイムライン」について
- 天井川の祖父川に関連して
- 滋賀竜王工業団地の取り組み状況は
- (株)雪国まいたけ所有地への対応について

議員  
 剛子 敏正 英作 英作 英作 英作 博 義明 克彦 克彦 富男  
 重敏 敏正 英作 英作 英作 英作 博 義明 克彦 克彦 富男  
 森井 若貴 内山 内山 内山 内山 内山 松浦 山田 古株 古株 岡山  
 小森 若貴 内山 内山 内山 内山 内山 松浦 山田 古株 古株 岡山



小森 重剛 議員

## 問 「定住自立圏構想」の取り組みは

答 鋭意努力してまいります

問 本町においては、大幅な人口減少と急速な少子化・高齢化が進行しています。

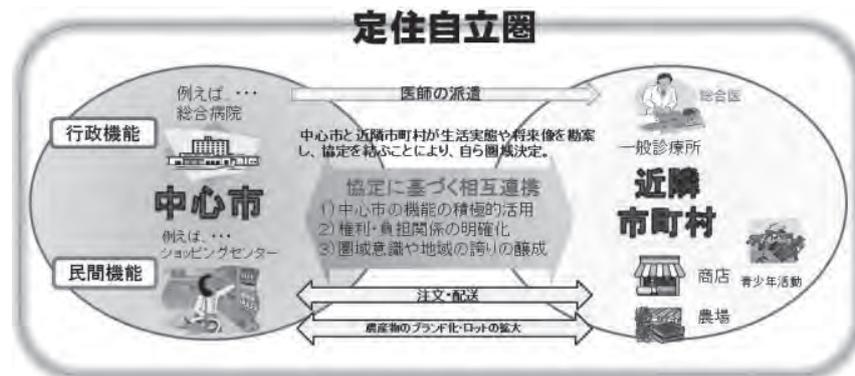
そこで、市町村の主体

的取り組みとして、「中心市」の都市機能と「近隣市町村」の魅力を活用し、地域圏への人口定住を促進する目的で、総務省が平成21年から「定住自立圏構想」を政策として全国展開されています。竜王町として、「定住自立圏構想」について近隣市との連携を考察、協議されたのか？

現在、東近江圏域においては、東近江行政組合等による事業の共同処理を行っています。

今後においては、さらなる効率的な行政運営と行政サービス維持向上に向け、広域連携も踏まえ鋭意努力してまいります。

答 現在まで、近隣市との協議については行っていません。しかしながら、1町のみでの行政規模では対応できない行政課題の解決に向け、周辺自治体との連携を密にしていくことが必要です。



定住自立圏のイメージ（総務省のウェブサイトより）

**問** 国は農政改革を断行するとして閣議決定を行った。その中身は農協や農業委員会制度の「改革」で、これまでの農業政策

## 問 農政改革について町の考えは

**答** 国の動きを注視する



若井 敏子 議員

**答** 農業委員会は農業と農業者の立場を代表する機関で、その意見・建議は地域や農業者の生の声として重く受け止めてお

のあり方を根底から崩すものである。このことについて町としてどのように考えているのか。

り、この機能を維持していくことは重要です。また、農業委員の数は農業委員会活動の実効性を保つ体制として重要です。

農業の維持・発展、農地の確保・集約、有効利用に影響を及ぼすことになります。今後においても国の動きを注視していきます。



農業委員会による農地パトロール

## 問 生産者米価の下落で町農業基本計画はどうなるのか

**答** 農家の経営は非常に厳しい状況

**問** 米価の下落は町の農業基本計画をゆがめてしまふ。町の基幹産業である農業を守る立場で国を含め関係機関に農産物の価格安定策を要求し、町としての施策を作り上げる考えはないのか。若者が住み続けられるまちづくりのために尽力いただきたい。



今年の作況指数 97 (滋賀県)

**答** 町の「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」では、年間農業所得を概ね500万円を確保するとしていて、それは米価を1俵60kgあたり12,540円としています。農産物の価格安定対策としては、国の米・畑作物の収入減少影響緩和対策がありますが、この対策の対象者は平成27年度からは規模要件は難しく考えます。

なくなり、認定農業者、集落営農、認定就農者となる予定です。この対策は支払時期が次年度以降となることから今年のような米価下落になると農業の維持は非常に厳しい状況になります。

米の直接支払交付金が半減することは承知していますが、半減分を町予算で補填するような施策は難しいと考えます。



貴多 正幸 議員

## 問 全国学力・学習状況調査について

答 子ども達の学力は向上しています

**問** 文部科学省が公表した2014年度の全国学力・学習状況調査の結果、竜王町の児童生徒の現状の学力はどのような状態であるのか。

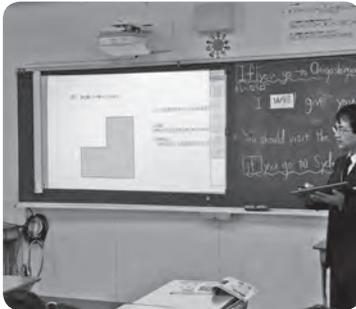
### ICT機器を使った授業とは？

タブレットパソコンを使って教師から生徒に教材を転送し、生徒はパソコンで調べたり解答したりします。その内容をスクリーンに映し出すことでみんなが共有できます。



近江うし丸

**答** 竜王町の子ども達は、小学校および中学校の調査結果のほとんどにおいて、滋賀県平均を上回っています。全国平均と比較すると、各学校・各教科・各分野により上回ったり、または下回るなど様々ですが、その差は僅かであり前年に比べると竜王町の子ども達の学力は向上しています。また、小中学校へのICT機器を使った、よりわかりやすい授業への授業改善を進めるとともに、教職員への研修や、家庭学習・生活習慣の確立には保護者の方々との連携も必須となることから、町PTA連絡協議会での研修も実施しています。



## 問 三井アウトレットパークとまちづくり

答 具体的な行動までには至っていません



内山 英作 議員

**問** アウトレットパークへの年間平均来客数、竜王町の特産品の販売額については？  
来客者とまちづくりに

**答** 年間平均来客数は概ね430万人、年間平均販売額は約258万円。来客者だけでなく、アウトレットパーク開業、増床後は約2000人の雇用が生まれました。また、道の駅がみの里やアグリパーク竜王の売り上げ、出荷・生産組合員数も増加しています。交流人口から定住人口に繋げられるよう取り組みを推進します。



三井アウトレットパーク

## 問 新幹線湖東駅(仮称)設置に向けて

答 設置推進協議会再開への動きを注視

**問** 一東海道新幹線湖東駅(仮称)設置推進協議会の年内、再開に向けての町長の考えは？

**答** 適期を見逃すことのないよう、更なる情報収集に努めてまいります。



南側から新幹線・篠原駅方面を見る

## 問 地域包括ケアシステムの構築は

答 介護保険事業計画で検討します

現在、第6期介護保険事業計画を策定中であり、その中で検討を図っていきます。

在宅医療の多職種ネットワークでは、「ぼちぼちねっと竜王」、「在宅福祉医療ネットワーク会議」などを開催しています。

問 超高齢社会に対応するための医療・介護・予防・住まい・生活支援が住み慣れた地域で一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築することが求められているが、竜王町の体制整備・強化目標は。



体操で介護予防

答 高齢者の生活上の様々な課題を共有し、解決の糸口を見つけ出し、制度化することで地域包括ケアの強化を図ることを目的に「地域ケア会議」を開催しています。

答 高齢者の生活上の様々な課題を共有し、解決の糸口を見つけ出し、制度化することで地域包括ケアの強化を図ることを目的に「地域ケア会議」を開催しています。

## 問 空き家対策は

答 対策・制度を模索します

問 2013年の住宅・土地統計調査によると、全国の空き家数は820万戸、住宅総数に占める割合が13.5%、また、放置された空き家は31.8万戸。

答 平成23年度の空き家実態調査では、空き家数

71件(団地を除く)、率は約2%、放置された空き家は9件です。

防犯上や地域コミュニティの低下の観点から、空き家の有効活用、また空き家の管理不全の発生予防など、課題を抽出しながら、対策・制度を模索します。



放置された空き家

## 問 お買物無料送迎バスの運行

答 対応は難しい

答 大規模商業施設では、送迎のサービスは考えていないが、配達サービスとして1日10人×7日間のニーズがあれば実施可能であると返事をいただいています。

しかし、伊賀方式のお買物バスへの対応は難しいです。

問 ひとり暮らし高齢者、高齢者2人世帯、昼間ひとり暮らし世帯などに対するお買物無料送迎バスはどうか。

答 ひとり暮らし高齢者、高齢者2人世帯、昼間ひとり暮らし世帯などに対するお買物無料送迎バスはどうか。

の運行の取り組みを、近くでは三重県伊賀市で実践されている。竜王町ではどうか。



全国ボランティアフェスティバル・分科会

## 問 祖父川上流域の水害防止対策について

### 答 上流2市に要請する



松浦 博 議員

**問** 祖父川流域では、昨年は避難命令、今年は避難準備命令が出るような状況下で、いくら下流で水害防止対策を講じてても上流から流量調整ができれば一気に危険水域まで水かさが増すことに、下流域住民は不安を訴えている。祖父川流域全体の水害防止対策を国や県および近隣市に、今まで以上に発信し行動することが望まれているが、当局の姿勢を伺う。



祖父川上流・茶釜川

**答** 近年は雨水排水計画基準により開発造成されていますが、祖父川の流下能力を確保するには、日野川下流部からの抜本的な改修が必要です。今後もし水工事・河床整正工事・堤防補強工事の継続と、上流域にも雨量観測所の設置を要望します。また、上流2市に対し首長を通じて下流域の危機状況を伝え、対処を要請します。

**問** 湖南工業団地は、昭和40年台前半にかけて造成されたもので、都市計画法施行以前の開発であるため、同法に基づいた措置はされていません。



山田 義明 議員

## 問 人口減少対策について

### 答 プロジェクトチームで対応

**問** 既存住宅団地の空き区画への誘導、IBMGブランド跡地の活用、市街化区域周辺の活用、集落周辺の活用、山之上地区定住促進検討業務の進捗、ソフト面の取り組み状況について伺う。

**答** 既存住宅団地へは建築予定を含め約60戸の入居があります。IBMGブランド跡地は、N社が開発許可を持っています。IBMG社が県と話し合いを繰り返される中、新たな事業者が町の定められた地区計画に適合した開発許可申請をされた場合、県は提出された書類に問題がなければ受付が出来るとのことです。

**問** 市街化区域の周辺の活用につきまして引き続き引き続き周辺地域での可能性を探っていきます。

**答** 既存住宅団地へは建築予定を含め約60戸の入居があります。IBMGブランド跡地は、N社が開発許可を持っています。IBMG社が県と話し合いを繰り返される中、新たな事業者が町の定められた地区計画に適合した開発許可申請をされた場合、県は提出された書類に問題がなければ受付が出来るとのことです。

ソフト面では、現在各施策の事業の実績・評価と課題の整理中です。なお、人口減少問題対策は庁内で若者定住・人口増加プロジェクトチームを設置し、ハード・ソフト両面で取り組みます。

地を含む周辺の道路等インフラ整備に国交付金の活用を目指し、協議資料の作成を進め、採択に向けて国と協議中です。



人口減少問題緊急対策会議 (8月1日 町防災センター)



古株 克彦 議員

## 問 「タイムライン」の取り組みはいかに

答 今後、策定へ向かう

問 「タイムライン」といわれる行動計画を履行した町が大きな成果を上げているが、当町の計画はいかに。

タイムラインとは台風などの接近に備えて被害を最小限にするため災害が起こる72時間前から、「いつ」「誰が」「何をするか」を時間軸に沿って決めた行動計画のことです。



近江うし丸

本町の防災計画の中で50年に一度の時間雨量109ミリを想定していますが、決して大げさな雨量ではなく、いつ降って

8月には広島市における甚大な土砂災害被害が発生し、また、9月には北海道の35市町村に対し「大雨特別警報」が初めて出され、9万5千人に避難勧告が発令されました。

もおかしくない数字です。大規模な風水害や地震災害発生直後から職員や関係者が的確に災害対応を遂行できるよう、「災害初動マニュアル」や各マニュアルを基本として対応します。今後本町における事前防災行動計画「タイムライン」策定に向け取り組みます。

## 問 天井川の祖父川に関連して

答 関係機関に協議調整を行います

問 滋賀県の天井川は数で全国の3分の1を占める。祖父川はその1つであるが、それに関連して1、竜王大橋北側の堰イセキ中央部分が入り込んでから大雨で土台から倒壊している。改修予定について



倒壊した堰（竜王大橋下流）

2、竹木伐採計画その後の活動について

答 1、堰の床止めは河床の洗掘を防いで、河道の勾配を安定させる役割と地域の農業用水を補給する役割を兼ね備えていることから、河川管理者と農業用水を管理している関係機関とも協議調整しています。計画が整い次第、関係地域へ報告します。

2、竜王大橋北側の竹木伐採については、堤外民地ではありませんが、竹木が護岸構造物、河道を侵していることから、平成26年5月に町内の河川において要望しています。他市町からの要望も多く出されておられ、限られた予算での事業実施という厳しい状況と聞いています。今後も要望活動を致します。

## 問 滋賀竜王工業団地の 取り組み状況は

答 今年11月から分譲開始



岡山 富男 議員



工業団地募集ポスター

**問** 滋賀竜王工業団地の

区画販売が県公社により11月から開始されると聞いているが、工業団地内の一区画に企業が重複した場合、町としての企業選定方針を伺う。

町が希望する企業を選定できるのか。

また、選定から外れた企業に対する町としての対応策は考えているのか。

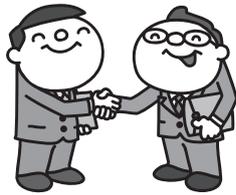
**答** 竜王町も県土地開発公社内に設置される選定委員会構成委員となる予定です。

町としては、財政や雇

用の安定、さらには地域

貢献に旺盛な企業の選定に向けて、町の意向を主張していきます。

また、「選定から外れた企業に対する対応策」として、町の誘致方針に合致する企業には県企業誘致部門の支援も受け、滋賀竜王工業団地の周辺を含めた町内の開発可能地へと誘導できるよう、交渉します。



## 問 (株)雪国まいたけ所有地 への対応については

答 (株)雪国まいたけと  
調整していきます

**問** 竜王町は、平成13年

度に山面と(株)雪国まいたけと協定を交わしてから13年が経ち、来年度で農工法の期限が切れる。周辺の住民の皆さんは、今後どのようになっていくのか、心配しておられる。放置された現状と、地元への町の責任をどのように考えているのか。



雪国まいたけ造成地

**答** 竜王町としては、農

工計画に沿った工場進出を期待していたところで、企業が側面事情により計画どおり進んでいないのが現状です。

長手続きをしてきました。農工計画に基づく一日も早い工場用地の有効活用が図られるよう、現在も、雪国まいたけとの調整を精力的に取り組んでいます。

現在まで県と協議の上、3回の農工計画期間の延

時事往来

スーセー・マリー市訪問 岡山 富男 議員

この度、8月20日から27日にかけて友好姉妹都市アメリカ合衆国ミシガン州スーセー・マリー市へ、姉妹都市提携40周年記念事業に議会代表として参加しました。これまで、スーセー・マリー市から多くの市民や中学生を竜王町に迎え、また、竜王町からも多くの中学生等を派遣して来ました。お互いの訪問により、参加した大人や中学生を通してホストファミリーの人々や地域の人々への交流の輪が広がり、この記念事業を機にさら

に両市町の友好は深まり、新たな歴史が刻まれました。この事業では、「きずな」と書かれたモニュメントが市役所前に設置され、地方新聞の一面に掲載されました。そうしたこともあり、市民の皆様から熱い歓迎を受けました。今後も両市町の交流がより一層深まり、50年につながるよう望んでいます。

◀スーセー・マリー市の街並み



議場にて市の議会議員と



「きずな」モニュメント



訪問記

スーセー・マリー市を訪ねて

林 在住 楠本 恭久



竹山町長を使節団の団長として、11人の団員と共に8月20日より27日の8日間、熱くなる心を抑えスーセー・マリー市を訪れました。緯度が竜王町より11度高く、日差しはきついもののさわやかな秋の気候でした。2日目は、市役所訪問です。最初に全員で集合写真、続いて先住民の方による両市町への「幸福と感謝」のお祈りをされ、その後、議場にて市長さんから温かいメッセージ「両市町の友好が長く続くことを願います。」と。

その後、外で竜王町から寄贈された“きずな”の文字を刻んだ記念碑の除幕式。この時、訪問させていただいた喜びを深く感じました。この夜からホームステイが始まり、心と心の会話で友情を深めていきました。



市役所前にて

※議会だよりへの寄稿をお願いしました。楠本さん、ありがとうございます。

# シリーズ いきいき人生

## 私の料理人生



私は横浜生まれ新潟育ち、家庭では中学から夕食のご飯炊きから始まって見よう見まねで、料理本を片手に、「今日は美味しかったよ」と家族の言葉に料理作りが面白くなりホテルのフランス料理長になる目標が出来ました。昭和33年高校を卒業し、東京のホテルに就職し10年、京都11年、新潟4年、滋賀17年と42年間皆様に美味しかったよと言ってもらえらるよう頑張りました。念願のホテルのフランス料理の料理長になり食生活の改善に尽くし自己満

足している次第です。その間昭和36年に氷彫刻に出会い、料理の引き立て役に料理台の真ん中に氷彫刻を置き、お客様に喜んで頂きました。スイスのユングフラウヨツホのアレグチ水河の出发点で、スケートリンクの壁に3カ月半4人で立てこもり、3mの彫刻を6基彫り上げ、日本やヨーロッパ各国のマスコミに取り上げられました。また、カナダのバンクーバーの世界氷彫刻コンクールに2回参加し、翌年からアメリカミシガン州に場所を移しての同コンクールに17年間デモンストレーションに参加し150kgの水を250本会場周りに飾り、市民に喜んで頂きました。日本でも毎年、世界氷彫刻旭川

大会に滋賀県チームとして参加し、毎回入賞しています。現在は日本氷彫刻会滋賀県支部長の職にあります。料理では、現在滋賀県調理短期大学の講師に就任し、地元松が丘では、老人クラブで年4回の料理教室を行い、皆さんとの交流の場を楽しんでおります。今まで40数年の料理の仕事で無事過ごせてこられたのは、素晴らしい師匠、先輩、後輩に恵まれたお蔭と感謝しています。平成23年に春の叙勲旭日双光章を拝命し、賞に恥じない食生活の向上と

松が丘在住  
久保田 博さん

竜王町の皆様が元気に幸せに暮らせるよう微力ながら努力したいと思います。



商工会の料理教室にて（平成23年）



町文化祭で氷の彫刻ショー（平成23年）

## 編集後記

第15回蒲生郡議会議員研修会で公共施設の更新問題について講演を聴きました。その中で、今ハコモノ（学校・庁舎・図書館・体育館など）、インフラ（道路・上下水道・橋など）、プラント（ごみ焼却場・汚水処理場・火葬場）の公共施設の更新がここ20〜30年の間に集中してくるとの話でした。人口減少、高齢化が猛スピードで来る中、ハコモノを同じように建て替え出来るか。財源不足の試算からする



と、「今後40年間で竜王町はハコモノを41.4%削減することが必要です」とショッキングな数字を聞きました。子や孫の世代に大きな負担を押し付けないためにも大きなテーマを頂き、町民の皆様と共に取り組む必要を感じました。



議会広報特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 松浦 博  |
| 副委員長 | 内山 英作 |
| 委員   | 竹山 兵司 |
|      | 岡山 富男 |
|      | 古株 克彦 |

# 竜王町議会会報

発行・竜王町議会  
編集・議会広報特別委員会

〒520-2592 滋賀県蒲生郡竜王町小口3  
☎(0748)58-3713



この印刷物は、大豆油インキを包含した植物油インキと環境に配慮した再生紙を使用しています。また、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。